婦人と新社會

山田わか主筆

十一月號

女と佛陀
新時代と婦人の位置
偏見の堤防と新婦人
ローマンスと新婦人
大自然の法則と新婦人
家庭生活と新婦人
結婚に成功する秘訣
消費組合の歴史
白耳義——佛蘭西——獨逸
佛蘭西から南洋まで
四つになる兒のうた
流るゝ星◎ある日
教育社會學
——社會階級の研究——

毎月一回一日發行　第參拾參號　大正十一年十一月一日發行

東京　婦人と新社會發行所

□山田わか著

□四六特三百五十頁　定價金貳圓□
□總クロース美本　送料金拾五錢□

戀愛の社會的意義

再版

目次大要

富を造る事と幸福を造る事——戀愛と結婚——戀愛に對する男子の態度——菊榮氏の『女も進んで求婚すべし』に附て——結婚道德の一ッ——墮胎に附て——戀愛の自由と本能——女子敎育の基調——產業機關は臺所のため——戀愛と藝術——家庭を追はれた產業婦人——婦人運動の歸着點——メレデスの靈肉觀——母と社會政革——婦人の智的生活——禽獸の親子關係【其他十七問題】

東京市四谷區南伊賀町四十一番地

發賣所　振替東京五三六八八　婦人と新社會社

婦人と新社會

十一月號

女と佛陀

佛陀は曰ふ。

男の心を囚にするに、青年達よ、女の姿ほど力強いものが外にあるのを私は知らない。

女の姿が、青年達よ、男の心を囚にする。

男の心を囚にするに、青年達よ、女の聲ほど力強いものが外にあるのを私は知らない。

女の聲が、青年達よ、男の心を囚にする。

男の心を囚にするに、青年達よ、女のかほりほど力強いものが外にあるのを私は知らない。

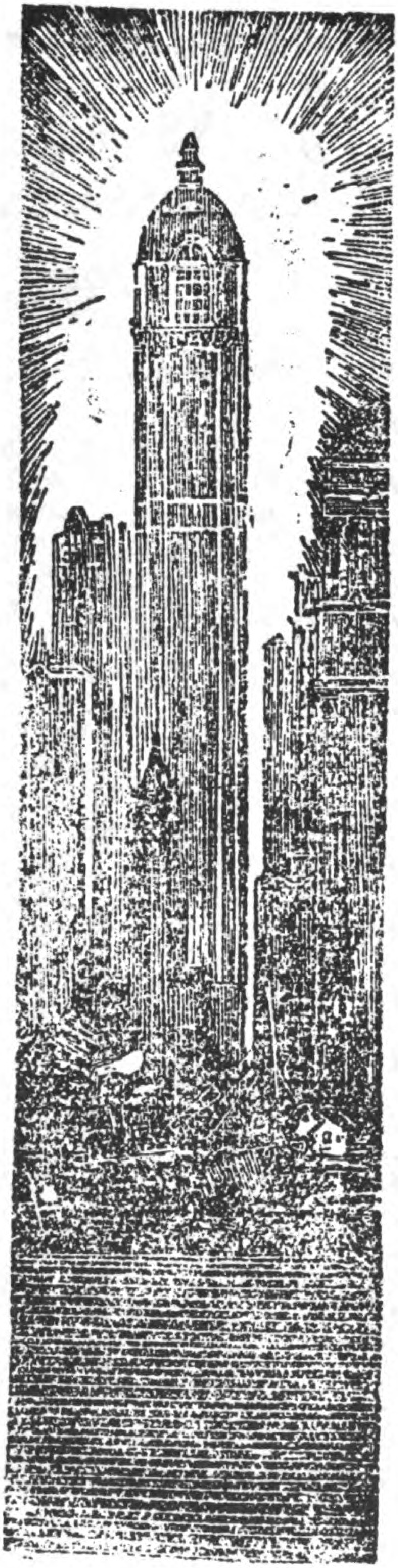
女のかほりが、青年達よ、男の心を囚にする。

男の心を囚にするに、青年達よ、女の嗜好ほど力強いものが外にあるのを私は知らない。

女の嗜好が、青年達よ、男の心を囚にする。

男の心を囚にするに、青年達よ、女との接觸ほど力強いものが外にあるのを私は知らない。

女との接觸が、青年達よ、男の心を囚にする。



新時代と婦人の位置

一、偏見の堤防と新婦人

婦人解放運動は善かれ悪しかれ着々と實現しつゝあります。男子の壓迫及び因習の重荷が婦人の肩から全然取り去られるのはまだ〳〵前途遼遠であるとしても、とにかく、婦人の自由は日に月に其の範圍を擴大しつゝあります。

こゝ二三十年間に於ける彼女達の進歩は、過去同百年間に於ける進歩よりも著しい

ものであるに相違ありません、そして、これは、産業革命の結果であるのです。大規模の機械産業の發達が、其の影響を全人類に及ぼして、そして、婦人を家庭から引き出しました。其のために、長年の間、婦人に對しては閉されてあつた經濟上の自由と云ふものを婦人は味はうようになりました。

今日の婦人は以前の婦人のように、結婚生活を絶對の意味で必要としなくともよいつまり、自己の意志によつて結婚を左右し得る狀態にあるようになりました。勿論、結婚と云ふことは男子の心を引いて止まないと同じように女子の心をも引いて止まないものでありますが、併し、現代の婦人は昔の婦人のように屈辱を忍んで迄、つまり男子の惠みで貰はれると云ふ弱者の位置から脫することが出來るようになつてゐます。

結婚をしそこなつた昔の女はみじめなものでありました。まるで、不具者か低能者のように世間からは目される恥を忍び、其の上に、一生涯、人のなさけで生活して行

かなければならないと云ふ憐れな狀態にあつたものです。が、現代婦人は自己の意志によつて、自己に適した道を選んで歩むことが出來ますし、世間も亦其れを別に怪しみもしないようになつてゐます。『人間生れて婦人となるなかれ、一生の苦樂他人による』と云ふ言葉は今はもう用を爲さない言葉となつてゐます。

そして、これが全體としての婦人の意を非常に强くしてゐます。

大部分の婦人は經濟上の獨立を得るための職業よりも矢張り、結婚を選んで居ますけれども、少數の婦人は自己の理想に忠實に、靜かに嚴肅に職業を勵むでゐます。そしてさう云ふ種類の婦人の數は着々と增加しつゝあります。

彼女等はぜん〳〵と經濟上の獨立の可能なこと、並びに其の價値を認めるようになつて結婚を絕對に必要なものと思はなくなりました。否、結婚に對する慾望を押へて居るのです。そして、經濟界の前面に立つて男子と競爭の位置に立つようになりました。

二　ローマンスと新婦人

處で、此處に問題となるのは、婦人が男子と競爭する段になると、男子が優越な地歩を占めてゐる方面に於て、男子に劣らないように技術を磨かなければならないようになります。男子に劣らない能率を上げて行かなければならなくなります。そして、其の方面に精力を傾倒して居るうちに、婦人は女性としての能力を失つてしまひますつまり、女性としての精神的自殺を行ひつゝあると云ふことになります。

實際、現代に於ける婦人は人生に於ける二筋の道の間をよろめきつゝ苦しんで居ります。經濟上の獨立を得るための職業も新婦人として生きて行く上に必要であるし、又、一方には長い年月を經て發達して來た女性としての作用及び能力も捨て難いのでありますから、そして、其の結果は無數の婦人の苦惱となりました。不安狀態は現代の特長でありますが、併し、婦人に於て、其れが最も著しいのであります。

一體、最初の婦人運動者の精神は金が目的ではありませんでした。彼女達が目的と

したものは婦人の個人としての自由でありました。けれども、個人の自由と云ふことには經濟上の自由と云ふことが先づなければなりません。そして、經濟上の自由と云ふことは生活の手段を持つと云ふことです。

多くの先覺婦人は其の生活の手段を得るために奮鬪しました。そして、後進者のために道を造りました。多くの若い婦人は其の道に沿ふて進んで行きました。若い婦人達が、唯自分の生活の手段を得るために立派に働いて行かれるようになると、今度は若い婦人の親達が其れをあてにするようになり、ツイには、女の子も稼ぐものであると云ふような氣分が、今、出來上がろうとしてゐます。

女性としての能力を失つても、人間としての、もしくは、男性と同じ能力を獲得して居れば差し支へない。人間として或る一ツの職務を充分に盡し得れば足りると云ふ意見もあります。けれども、自分の職務に全精神を傾け盡して、そして、自分が性的動物であると云ふことを全然忘れることの出來る婦人は稀多にあるものではありませ

ん。つまり、男でも女でも自分の心から異性を全然切り離してしまうことは出來ないのです。又、無理にさうすることは我と我身を社會秩序の敵と爲すのと同様なことになります。

男女間のローマンスは昔も今も同じように男女の心を最も強く牽いて居ます。實際に於ては、昔の男女よりも今の男女の方がより強くローマンスに心を牽かれて居るかも知れません。

昔、花嫁が盜まれたり、買はれたりした時分と、今日の進歩した婦人が結婚するのとは其の方法に於て、雲泥の差があります。けれども、結婚を希望する點は、少數の例外を除いて、昔の娘も今の娘も同じです。今の娘は昔の娘とは比較にならない程の自由、高い位置をもつてゐますが、その位置よりも矢張り結婚のうちにより大きな幸福を豫想してゐます。

職業婦人として、押しも押されもしない位置に居て、何一つ不足を感じなくとも、

それだけでは彼女は全的に滿足しません。彼女は變化を希望します。彼女は何にか望みを持つて居ます。空想に耽ります。そして、それは妻として母として一家庭の主婦として家庭を主宰して見たいと云ふ望みです。

妻、母、家庭の主婦と云ふことが若い婦人を結婚へと押しやる原因ではありますが併し、それ等よりもより大なる、つまり、結婚をもくろむ最大原因は、餘まり露骨な言葉ではありますが、異性を求むると云ふことです。一人の男子を自分のものにしたいと云ふ慾望が最大原因なのです。そして、それは、男子が一人の婦人を全然自分のものにしようとする慾望と同じなのです。

ですから、經濟上の理由、及び、其の外の周圍の事情は、昔の娘に强いた程今日の娘に結婚を强いはしません。けれども、結婚をしようとする傾向は今も昔も同じです否、今日の若い婦人は異性に接する機會を多く持つて居るだけ、それだけ多く結婚を希望して居るかも知れません。

經濟上の獨立は望ましいものであるに相違ありません。個人としての自由も勿論無ければならないものです。けれども、人間は其れよりも、より以上に、より強く望んで居るものがあるのです。

けれども、今日迄の婦人運動は、人間の性質に深く喰ひ入つてゐて決して離れない其の慾望を計算の中へ入れないで、婦人の知能の發達、經濟上の獨立を計畫しました。つまり、婦人も性的動物であると云ふことを忘れて、婦人の進歩向上を計つてゐました。其處に、幾多の困難、及び、つまづきのあつたことは、むしろ、當然でありました。

三、大自然の法則と新婦人

そして、此の男女が相當の年頃になると配偶を求めて止まないと云ふことは、其れが大自然の命令であつて、人間の力ではどうすることも出來ないものであるからです。つまり、男ばかりでも女ばかりでも、此の人生の幸福を全體的に完全に味はうことは

出來ないのです。それは、丁度、男ばかりでも、女ばかりでも新しい生命を創造し得ないのと同じです。

精神的に生理的に、自分を異性に結び付けようとする慾望は、凡ての慾望のうちで最も强烈です。世間には、よく、虛勢を張つて結婚と云ふことに皮肉な言葉を投げたり、自分には自分自身としての生活があつて異性を考へる遑などはないように云ふ靑年男女があります。けれども、心のうちは決してさうではなく、やはり、平和な愛情の濃やかな結婚生活を望んでゐます。靑年男女ばかりではありません。可なり老年期へ入つても自分の生活を潤し、輝すものは矢張り自分の配偶者であるようです。

靑年期に近づきつゝある少年少女は其の生理的の變化及び空想と共に、不思議な種族的本能の烈しい衝動を感じ始めます。兩性間の容貌及び動作の差は益々著しくなつて、そして、それが兩性各々に神祕的な感じ、及び、魅惑を感じさせます。生理的に精神的に別々な方面に充分發達した處で兩性は結合します。そして、此の社會と云ふ

複雜な織物の一單位となります。

人は、敏感であればある程、理想的であればある程、自分と同趣味のもの、自分と理想を等しくするものとの完全な結合を望んでゐます。世間的に隨分成功してゐる人たとへば、社會的に最高位を占めてゐる人、又は巨萬の富を蓄へ得た人でも、もし、良配偶がないならば、其の人は自分の生活が不具であるように感じます。

歷史のうちには、幾度も〳〵、此の配偶を慾求する本能を制服して、より高い理想として獨身主義を稱へた人々がありました。そして、それは、子供及び家庭に對する狹い愛よりも、より高尚な、より廣い人類的な愛であると宣言され、そして、多くの聖人や社會改革者は其の理想に從つたのでありました。けれども、さう云ふ人の生活を種族の標準とするわけには行きません。なぜなら、さう云ふ人の生活は種族と云ふ川の本流から逸してゐるものであります。或ひは、他のたとへを以て云ふならば、さう云ふ人の生活は種族と云ふ本幹から發出した一本の枝であります。其の枝には立派

な花が咲くかも知れません。けれども、決して、形體的の果實は結ばないのであります。もし、凡ての人がさう云ふ聖人の獨身主義を自分の理想として守るならば、直きに、私共は人類とか社會とか云ふことを口にする必要がなくなります。

私共の肉體、及び、精神は一定の法則に支配されて居ます。其の法則のうちの或るものは、今、やうやく理解されようとしてゐます。けれども、其のうちの或るものは絕對に私共に分つて居りません。

其處で、今日の場合ひ、先づ完全であると云はるゝ人は、自然の法則に反するような行動に出ることなく、精神の向上に資するように生理的の作用を働かせ、精神の墮落を誘致するような作用を避ける人であります。

今日迄の禁慾主義者は肉體を虐待して精神の向上を計ろうとしたのでありますが、併し、私共の精神は肉體の中にやどつて居るものであり、そして、其の精神及ひ肉體を支配してゐる法則があるのですから、其の法則に反するような行動に出るならば、

大自然は私共を罰します。そして、私共は苦しみ、種族は損害をこうむると云ふことになります。

電氣で申ますならば、陰電と陽電は、もし、それが別々に孤立の狀態にあるならば光りを發しません。けれども、正しい位置に於て其の二ッが接觸する時に、電氣の性質に變化が起り、火花を飛ばし燃ゆるような光りが現れていろ〳〵の仕事をします。男女の間も其れと同じ道理で、男女が正當な方法によつて接近し、結合することによつて其處に愛と云ふものが生れますが、それは電氣の光りと同じものです。有益な人は獨身者であつても有益な仕事を致しますが、併し、異性と結合することによつて一層光輝ある仕事が出來るようになるのは、それが自然の法則に叶つて居るからであります。

四、家庭生活と新婦人

二人の人間が一ッ處に生活致しますならば其處に分業が行はれるのは、これも自然

の法則です。男と女はどうしても結び付かずには居ないものであり、それが大自然の法則であるならば、男女の間に分業が行はれるのはこれも極めて自然な行き方です。女は女に適した仕事を爲し、男が男に適した方面の仕事を分擔するのは双方のために好都合であり幸福です。

けれども、今日迄は、婦人が女性として發達させて來た能力の價値が無視されて居りました。あらゆる點に於て、女子は男子に劣つて居ると云はれて居ました。勿論、劣つて居る處もあります。同時に優れてゐる處もあることを私は認めて頂きたいと思ひます。

此の人生に於ける價値の標準を男性として男子が發達させて來た男子の能力に置くならば、勿論、女子は男子に及びません。けれども、これを反對にして見て、女性として女子が發達させて來た女子の能力を價値の標準として考へて見たならばどうでせう。たとへば、家事をとること、針を持つこと、子供を手がけることの能力を標準と

して考へて見るならば男子が女子に及ばぬこと遙かでありませう。

女子の頭腦は男子の頭腦よりも低級であるやうに一般に考へられてありますが、それは女子とは別の方面に長年の間訓練され、發達させて來た男子の頭腦を標準とするから低級であるやうに思へるのです。

もし、これを、女性としての訓練を長年の間經て、女性として發達してゐる女子の頭腦を標準として考へるなら、男子の頭腦は遙かに低級であると云はねばならなくなります。

柔く、細く働く女子の頭腦、つまり、女性として特別に發達させて來た方面の能力を人間としての能力の標準として考へるならば、實に、天下の男子は、大部分、低能者であると云はなければならないでせう。

けれども、世界を通じて、今日の婦人は、婦人としての其の能力、其の性情の價値を知りません。そして、人生に必要なもの丶半分を滿す男性的の仕事をしなければ人

としての價値がないように考へて居ります。

文明國に於ては、殊に、合衆國に於ては、世界の何處の國よりも婦人が最大自由を持つてゐます。そして、婦人の男性模倣事業に最も成功してゐます。そして、男性模倣に成功して居るだけ、それだけ、女性としての性情と能力を失つてゐます。一家の主婦として持つて居なければならない技術を失つてゐます。

合衆國の婦人よりもより多くの自由、知力の向上を計るより多くの時間と機會を持つ婦人は何處の國にもないと云はれて居ます。

同時に、合衆國の婦人よりも、家庭婦人としてより不器用な、家庭經濟のより下手な婦人は世界の何處の國にもないと云はれて居ます。

ですから、今日の意味での婦人の解放が實現されゝばされただけづゝ、婦人の愛情のこもつた、そして、婦人としての技術を現した家庭料理と云ふものは無くなります食事の一切が罐詰又は出來合ひ品を買つて來て間に合はせると云ふことになり、子供

の養育、教育及び、其の他の一切が他人任せと云ふことになりつゝあると云はれてゐます。

數年前に米價が急に暴騰した時に、私のうちでは外米を使ひました。勿論、外米は味が惡いし、又、不潔でもあらうと思ふので、私は其の洗ひ方にも、炊き方にも、特別の注意を拂ひました。副食物にも、費用のかゝらない、けれども、外米の御飯に適合するようなものを選みました。子供達を始め、家族の者は、皆、滿足して、滿足しない迄も、私の苦心に免じて滿足して居ました。

處が、或る時、或る處で、『簡易食堂』の試食會に招かれました。勿論、外米の御飯です。私は、日頃、外米を食べて居るのであるから、與へられた丼一ッを皆平らげて見せようとして食べ始めました。けれども、三分の一ばかり食べて行つた時に、白い胴體の黒い頭の五分ばかりの長さの虫がウザ〳〵二疋も御飯の中に横つて居ました。それを見ては、もう何としても其の御飯はのどを通らなくなりました。

其の時も、私はつく〴〵日頃の自分の持論が間違つて居ないことを考へました。たとへ、まづい外米でも、其の外米の中に妻なり母なりの眞心がこもつて居る時に、家族は皆滿足出來る。けれども、食べる人々に對して愛がない。何等の同情もない、唯義務として、米が飯になりさへすればよいと云ふ調子で炊かれた外米の御飯を我が國民に食べさせるのは可哀想だと云ふことを。

國力の充實とは國民の健康と元氣です。そして、其の健康と元氣は、家庭に於ける愛情です。同情です。食料の品質よりも、被服の品の上下よりも、其の食料、其の被服にこもる優しい女性の愛情です。

金樓玉殿に住んでも其處に愛情がない時には人は幸福でなく、けれども、たとへ、小さな茅屋でも其處に妻なり母なりの愛情が輝いて居れば、人は最上に幸福であると云ふことは誰でも知つて居る事實です。

であるのに、一般男子は、幸福の創造者である女性、女性としての貴い能力を發達

させて居る婦人を、男子と同じ能力を持つてゐないと云ふ理由の下に卑下してゐます。婦人も亦卑下されるのが嫌やさに、自己の貴い能力、民力の充實のために重要なる使命を捨て丶男子を模倣しようとしてゐます。各家庭の家事、並びに、育兒は、愛からでなく、同情からでなく、金のために取り運ばれるようになつて、生活の一切が機械的になつて、愛に饑へた男子及び子供の健康も元氣も著しく減退して、民力が衰退してしまう迄社會は女性として發達させて來た能力の價値を認めることが出來ないのでせうか？

もし、女性としての能力の價値、女性としての使命の重要さを社會がいつ迄も認めないならば、現代の婦人は與へられた其の位置に耐へかねて、どん〳〵家庭を捨て丶しまいます。其處で、私が特に申上げたいことは、女性の能力を認めて頂きたい。女性としての婦人の使命に相當の敬意を拂つて頂きたい。で、ないと、奴隸のような家庭婦人の位置に新時代の婦人は憤慨して皆家庭に入ることを避けるようになる。そして由々しき悲慘事が其の結果である、と云ふことです。



結婚に成功する秘訣

旅をして、嬉しいことの一つはどうでもこうでも交渉を持たねばならぬ驛員達のもの柔い親切な態度です。さう云ふ驛員達に出つかはすと『渡る世間に鬼はない』と云ふ感を深くして世間が明るくなり心強さを覺へます。

これに反して、出札係りなどの機嫌が惡く、わざとのやうにのろ〳〵して居て、其の上に切符をたゝきつけられるような態度をされる時に私共は實に不愉快でそゞろに旅の淋しさを感じます。うちを遠く離れて居る時など一層其の感を深くします。『旅は憂いもの』と云ふ感じをしみ〴〵味ひます。

私は、旅先きで、もの柔かに親切にされるに付け、又は、『どこの馬の骨か』と云ふ

ような顔をして取り扱はれるに付け、必ず、思ふのは、其の人の家庭生活です。機嫌よく親切にして呉れると、『此の人の妻は善良な婦人で今朝も此の人を優しく心持ちよく送り出したのだろう』と思ひ、慳貪な顔してまるで餘計な厄介者でゞもあるかのように取り扱れると、『此の男は今朝夫婦喧嘩をして來たのだろう』などと思ひ、もし、又、まだ少年期にある驛員の態度によつては其の驛員の母の有無、或ひは母の賢愚を考へます。

　旅客を厄介者扱ひにしてゐる驛員は驛員自身でも決して愉快に仕事をしてゐるのではありません。これに反して、見ず知らずの旅客の一人々々をまるで肉親の者でゞもあるかのやうに取り扱つて居る驛員は自分でも本當に愉快に面白く働いて居るに違ひありません。そして、それが無數の旅客をどんなに益するか知れません。

　無數の旅客が不愉快不便な思ひをするのも、愉快で心強い思ひをするのも、其の原因の大部分が驛員の家庭生活にあることを思ふ時、實際、私は國民の家庭生活の社會

的影響と云ふことを考へます。國民の家庭生活の圓滿、不圓滿によつて、全國民の利益、不利益、愉快、不愉快、且つ又、能率の増進又は減退と云ふことが考へられます。そして、又、家庭の圓滿不圓滿を思ふ時、結婚の成功不成功を思ひます。

其處で、國力の充實、國民の幸福のために最大重要なものは成功した結婚、圓滿な家庭だと云ふことになります。ですから、幸福な成功した結婚、健實な家庭の數が殖へれば殖たゞけづゝそれだけ國家の基礎は堅固になり社會の幸福は増進し不幸な結婚不健實な家庭が多くなればそれだけ國家の基礎はぐらつき、國民の幸福は削減されます。

實は、大抵の人が結婚前には結婚のうちに大きな幸福を豫想してゐます。けれども結婚してから後、結婚と云ふ事に失望する人が餘まりに澤山あります。殊に、多少知的に傾いて居る人々に其れが多いやうです。（圓滿に行かない其の原因は結婚其のものゝうちに存在するのでなく、結婚當事者達の無知無責任から來て居ると云ふことには

氣付かずに）一途に、結婚其のものを呪ひ、結婚は人間の生きた魂を幽閉する牢獄であるかのように云ふ人さへあります。

そして、靈肉の合致した結婚などと云ふことは空想家の夢であつて、さう云ふ結婚が實際に於て存在する筈のものではないなどゝ云ふ人さへあります。

けれども、さう云ふ人は、凡て價値あるものは偶然に得られるものではない。殊に幸福な結婚などと云ふものは當事者達の誠意と努力によつて創造されるものであり、それが創造されるには普通は少なくない年月の絶へざる努力が必要であると云ふことを知らないのです。

結婚當初こそ新婚の夢に浸つて居ても、やがて、お互ひの缺點や不服な點が出て來る。けれども、責任觀を持つて居る人、自我に囚はれて居ないならば、相手の缺點や不服な點を補足することを考へる、お互ひにさうして居るうちに、最初に感じた單なる愛は同情に變り、それ迄は單なる異性として接して居た者に對して人間的愛を感じ

て來ます。此處に、健實な幸福な結婚の基礎は築かれ始めます。最初の結婚は單に表面だけの結婚であるかも知れません。相互の融合點がほんの僅かで稍もすれば分離しようとする傾向があるかも知れません。けれども、双互が誠意と責任觀をもつて、其の結婚關係を一寸、二寸、三寸と深くして行つて、融合點がだん／＼深く喰ひ込んで行つてツイにはお互ひの靈に觸れ合はうようになつて此處に始めて靈肉合致の結婚が成立するのだと私は信じて居ます。

完全な結婚から來る幸福は、個人に無限な活動力を供給すると同時に、其れが次代（子供）の利益になるばかりでなく、其の個人に接觸する凡ての人に利益を與へます。そして、此の社會と云ふ織物が一層美しくなります。

結婚に成功した完全な夫婦者は此の社會の大きな美しい光りです。彼等に接近する凡ての人は皆其の美しい光りに浴して此の地上の生活に喜びを感じることが出來ま

す。

金力によつてゞはなく、勿論腕力によつてゞはなく、愛の力によつてこ支配される社會が最も高尚な社會であると云ふことは識者の言を待つ迄もないことでありますが、其の愛の苗床は完全な夫婦であり、そして、其の完全な夫婦は誠意と責任観の賜であります。

秋風の浪音や船場灯さるゝ
店掃いて晩秋の灯いそしめり
河草の風冷やかに灯されつ

長島長吉



消費組合の歴史

二、白耳義

英國に於てロッチデール式の組合が發展して居る間に白耳義に於ては全く異なつた局面を有つた外の形式の組合が現はれて居ました。

消費組合と云ふものに對して白耳義が擧げた功績は社會主義派と勞働黨が合併した事でありました。それは後に分離するやうになりましたが其のことに付ては後に話します。

白耳義に於ける組合運動は英國に於けるが如き大規模のものではありませんでした。且つ、又、白耳義に於ける最初の消費組合は一八八〇年頃でありました。そして、又、それは最初から社會主義的及び政治的性質を帶びて居ましたので、反對黨のために絶へず其の發達を妨げられてゐました。反對黨と云ふのは舊敎徒及び、自由黨であつて、これが各都市に於て、反對の位置に立つて居たのであります。けれども、其の爭鬪が却つて組合の刺戟となりました。各々の黨派が其の爭鬪を世間の人氣を得る手段として利用しました。斯くして白耳義の消費組合が

特色とする處のものは政治と混合して居る事であつて、それは少くとも現在迄には決して他國に於て行はれなかつたものであります。結局（つまり）社會黨派は組合の店を『單に資本家界に馬鈴薯や麵麭塊を以て砲撃する爲の要塞と爲した』ばかりでなく、猶、又、その組合の建物は組合員のためには倶樂部となり、生活資料の中央供給所となり、會合所となり、修養所となり、娯樂所となり、生活改善の泉源となつたのであります。其の組合は一種の保護者の位置にあつて、其の方法は資本家の其れと同じでありますが、併し、內容は全然異つて居ました。其れは、現今の如何なる保護者の位置にあるものも用いて居ない仕方でありました。

例へば、會員は一週間の麵麭の代金を前拂ひせねばならない、つまり、これは組合が其運用費として勞働者から資金を借りるのであります。その上に、又、會員は彼の得る麵麭の實價の三分の一と云ふ餘分のものを支拂はねばならないのであります。併し乍ら勞働者は雇主からならば決して堪へ忍び得ない事でも、自己の組合の爲ならばそれを支出するのでありました。會員は喜こんで、保險、節約及び相互補助の計畫の網の中へ引込まれます。その網は彼の生れるから死する迄全く彼の周圍を取り卷いて居ます。そして、その網は彼の家庭に於て、職業に於て、又は政治的生活に於て、凡ゆる、彼の行動に附從して行きます。彼は、又如

何にして、正當に投票をなし得るかを、又は、酒を呑んでならないかを教へられます。白耳義の凡ゆる消費組合が麵麭を賣ることを組合の活動の基礎として居るのは日々の事柄に於て組合と組合員とを接觸せしめ、組合員の行動を綿密に支配し得るようにするためであります。

二、佛蘭西

佛蘭西に此の消費組合が設立されたのは、むしろ、後れました。十九世紀の前半中、佛蘭西の社會主義者は社會の惡性なる弊害、競爭を呪つて居ました。そして組合は其の競爭の正反對のものでありますす故に、其の弊害ある競爭を除去するには組合の設立が唯一の解決手段であるように彼等が考へたのは、むしろ、當然であります。併しながら、彼等はその解決を分配側から求めないで、製産側から求めましたので、それは全然、失敗に歸してしまいました。其の結果勞働階級は組合と云へば、いかなる形式のものでも、それを顧みないやうになりました。顧みられないながらも猶佛蘭西の社會主義者は、とにかくも社會問題の解決法として、此の組合の理想を保持して居ました。けれども、一八七八年リヨンに於て開催された社會主義の大會に於て、彼等が組合に對して、示した興味が最後のものでありました。其の翌年マルセーユに於ける會議があつてから、彼等の考へは全々變化しました。彼等は協同組合と云ふものは決して勞働階級の解放となる程充分力

強い組識でないと云ふ事に歸着して、そして、彼等は産業の要具の社會化と云ふことを可決しました。併し、それにも係らず、其處此處に消費組合の記錄に現れて居るその最も古いものは St. Etienne（サンエティエンヌ）の Ruche Stephanoise（ルシュ ステファノアズ）であつて、それは一八五五年から始められて居ります。それよりも、もつと、古いものがありますが、併し、それ等は何等の形跡も殘さずに長い以前に消滅して居ます。何人かの人々が協同して買物をすると云ふようなことは、あまり、單純なことに思へて其の頃の人々の心には止まらなかつたのです。從つて、こう云ふ方面に對する具體的の行動は現れなかつたのです。尤も一八二八年頃からギユーブヴルレルのアルサンスに於て、カイス・デユ・パンと稱された麵麭屋の組合が存在した形跡はありますが。一八四八年に於ける組合熱の大突發は、たとへ、その努力の全部が製産組合設定に用ゐられて居つたにも拘らずいくつかの消費組合が實現され、殊に、其頃の社會活動の大中心であつたリヨンに於て Sociétè des Castors（ソシエテ デユ カストール）なる組合が組織されました。

一八六七年から一八八三年に到る間、公衆の熱心は製産組合及び信用組合に傾いて居ましたが、それにも係らず、殆ど一百に及ぶ分配組合が設立されました。

この時代に於て組合は有名な經濟學者なる Leon. Say Jules. Simon 又は Walsas などに援助されてゐましたが、その綱領

はロッチデールのそれよりはずつと穏和なものでありました。そして、一八六七年の法律は、それは後に到つて詳しく調べますが、この運動の結果でありした。Jules Simon はこの法律に就て議論が沸騰して居る間、非常に奮激的な言論を試みて居ました。

佛蘭西に於て、消費組合が有識に組織されたのはニーム市であつて、そして、それは、一八八五年でありました。その組合員の小團體の中にはド・ボイブ・フアブル及び數名の勞働者が加はつて居ました。それ以來組合の進歩は餘りに速かでないにしても、併し、分裂するやうなことはなかつたのです。

一八八五年巴里に於て開催された第一

回の會議が、英國の歷史に於て述べたものに稍類似した組織の基礎を築きました中央委員を置く組合同盟會、購買組合、年々の會議及び議事錄の發行等はこの頃に始められたのでありました。十ケ年ばかりの間この組合同盟に加入した組合はロッチデールの綱領に從つて作整された綱領に忠實に從つて居ました。中央委員は利益配當をよしとして居るチャーレスロバートを熱心な經驗に富んだ良幹事と認めて居たのでありますが、併し、其の頃はまだ一般に購買同盟を組織しやうとする計畫は尙早であつた爲に、或る紛議が起り、組合同盟は少なからず鋭氣を削がれた形でありました。

この間、白耳義の協同組合の例をとり

その首要部の人達の助言の力に依て、佛蘭西の社會主義者の幾人かを此の運動に呼び返へすことが出來ました。其の社會主義者達はこの組合から社會問題の解決と迄は言へないにしても、少くとも、その解決に行く手段を發見して、そして彼等は分配組合の組織に着手しました。けれども、巴里に於けるそれ等の社會主義の傾向を帶びた組合は最初組合同盟に屬して居たのですが間もなく同盟から引退しました。其の理由は其の同盟會の傾向が餘りにブルジョア式であり、そしてその小議會に於ては餘りに地方的であると云ふのでありました。そして、一八九五年全々巴里人から成る組合を社會主義消費組合協同取引所の名の下に設定しました。社會主義者はこの分離は佛蘭西の組合に新紀元を開いたと云つて居ります。

併し、其の言葉の中には或る眞理があると同時に、忘恩と云ふことも含んで居ります。組合の條項に關はる範圍内に於ては、脱退した社會主義者等は同盟會の建設者の條項に何物をも附加へて居りません。けれども其の實現に關する範圍に於ては、彼等の組合は勞働者のみに依つて組織されて居るので、その階級的偏見によつて生氣付けられ、より活動的でありより訓練されて居り、そして、共同一致がより堅固でありました。けれども、その後の十七年間には絶へざる爭闘がありました。社會主義者の團體と所謂ブルジョアの團體と或ひは中立團體との間に。

そして、これが佛蘭西に於ける組合の進步を妨げました。組合思想に就ての色々の學派に關して論ずる事は後の章にゆづります。

けれども、最後に佛蘭西に於ける組合運動がその一致を見たのは主に兩派の忠實なる組合員の努力、及び、他國の殊に白耳義と英國の組合の影響を受けた結果でありました。そして夫れは凡ゆる國內會議又は國際會議を通じてゞありました

一九一二年ニーム派の一員の起草に依る布告文の下に兩派の一致が成立しました。この布告文は同盟協約書と稱され、別々に、併し、同時に委員會に於て批准されました。即ち組合同盟會議に於ては滿場一致で、社會主義者の取引所に於ては

三十名對三百七名の多數決に依て可決したのであります。そして、此の同盟協約書は遂に一九一二年十二月二十八日より三十日迄開催されて居つた Tours に於ける大會に於て採用される事になつたのでありますが、その大會の席上にはこの至つて幸福なる同盟を立證すべく他國の協同組合代表者の多數が出席しました。

併し其處此處にはこの同盟の解散を望んで居つてそれに加入する事を拒絕した組合もありました。が、又、之れに反してそれ迄同盟する事を拒絕して居つた組合がその二つの團結の何れかを撰むと云ふ困難がなくなると同時にこの同盟に加入する事を決定したのもあります。

たとへこの同盟は戰爭が開始された際

に於てはまだ何等の効果が擧がつて居なかつたのでありますが、それが既に設定されたと云ふ事は幸な事です。彼の大戰爭と云ふ大災厄に逢つても佛國に於ける組合が尚その生命を維持し、そして國家に對して著しき奉仕をなし、或ひは組合の原則を守り得たのは皆この同盟の力であつたのです。

四、獨逸

獨逸に於ける勞働階級は長い間この分配組合の有効さを信じないで居ました。何故なれば彼等はラッセルの云ふ brazen law なるものゝ思想と學說を信じて居ましたから。それは即ち昔の學說であつて、生活費が低減される事は必ずそれに賃銀率の低減が伴ふものである故に分配組合の成功は不幸を招致することであると敎へたのです。それ故に、獨逸に於ける組合運動は一八五〇年頃 Cooperative credit の形に於て、シユルツ●デリツシユの指揮の下に開始されました。此の形式は非常に好都合であつたので、その發展ぶりは驚くべきものでありました。英國に於ける消費組合のそれよりは尚一層著しいものであつたのです。實に、獨逸に於ては地方及び都市を合せて、二萬の協同信用組合が組織されて居ります。

この協同組合は凡ゆる形の組合の中、最も保守的のものである故にそれは自由黨派と中產階級派と小商人階級をも集合せしめました。小商人はこの組合から多大の利益を得るからであります。これは

又、ラッセルやカール・マルクスの極端なる社會主義に對する防止物であつて、長い間一種の避雷針のやうな形となつて居たのです。斯くして信用組合の中の高い位置に置かれ、伯林總同盟會に於て著名であり、又シュルッ・デリッシュに依て設定されたものゝ最も重要なものであります。と同時に分配組合は第二の地位に留まつて居り、その唯一の作用は同盟會の意見に於て勞働者に貯蓄させる事に助力し、そして信用組合に對する供給の源であるのです。併し乍ら同じ旗下にある信用組合と分配組合の同盟は次の事實に依て苦しめられて居ました。即ち信用組合を構成して居る大多數の小商人等は分配組合の發展は、彼等自身の絶滅に歸するものであると云ふことを宣言しました。更に又、同盟會は常にシュルッ・デリッシュの精神に鼓舞されて、中產階級の自由主義の側に立つて、その階級を擁護し、その頃獨逸に於いても佛蘭西に於ても分配組合が殺へ始めつゝあつた社會改革に對する社會主義者の勞働條項を受け容れ得なかつたのであります。そして一九〇二年クロイッナハに於て、シュルッ・デリッシュの弟子であり又後繼者であるクルーゲル博士を議長として開催された會議に於て、獨逸同盟會の決議は、前述の條項は餘りに社會主義的であると宣言しました。

この動議の結果分配組合の多は數ハンブルグにその本部を置いて獨立同盟を組

織する為に既成の同盟會から脱退しました。併しこの同盟は白耳義の團體と異なつて社會主義者の信仰を公言しません。且つ又、それは大きな社會主義民主黨と同盟もしません。併し乍ら公衆に物を販賣する事を組合に禁じ又は株金に利子を支拂ふ事を禁ずると云ふやうな規定に依てこの同盟は如何なる他の國に於て見るよりは一層反資本主義のそして一層相互扶助の性質を發揮して居ました。

今日に於ては獨逸は分配組合の領土に這入る事に於て甚だ迅速でないとは云ひながらその進歩しつゝあることは非常なものであります。此の方面に於ても矢張り産業界に於けるが如く獨逸は英國に先んづることを求めて居ります。そして、この國の以前の進歩率に依れば、これは後の章の數字に依て知る事ができますが、恐らく成功して居りませう。そして、それは興味ある事であります。何故なれば獨逸人が誇りとする組織と云ふ事の領域に於ける優秀さは强制的な國家或ひは軍隊に關係して居る以外には普通に認められて居りません。けれども此の自由なそして自然的の協同組合組職に對して獨逸人は、個人主義的の英國人のそれよりは決して少くない傾向を現して居ります。私共が記憶して置かねばならない事は、この獨逸種族の性質又は缺點とも云ふべき個人の利益を一般の利益に從はしめ得る教育の精神、結合しやうとする群居的本能、目的を貫徹しようとする偉大なる能

力、組織を崇拜すること、又巨大なるものに敬服する事、これ等の性質が獨逸に於ける組合の成功に最も好都合な條件であります。後の章に於て見る如く、世界の中で最大なる分配組合は獨逸に於て見出されます。消費組合の歴史は此の位ひでとゞめて置きます。なぜなら、今は十九世記の後年の凡ゆる國々の分配組合の歴史を話して居る時ではありません。それは、又、至極單調であります。何故なら白耳義を除き大抵の國に於てはロッチデール式のものが多少共忠實に模倣されて居ります。何れの國に於て組織の成功が最大なる好機會を有つたかを發見するために、後に、又、此の歴史を續ける事は一層興味が深いでせう。いづれにしろ英國から輸入された小さな種が何處の國に時かれても必ずそれが生へ榮へると云ふ事は確かではありません。そして次の章に於て説明しますが、其の發達の程度は國に依て皆多少異つて居る事は全く明かであります。（ジード）

草間判二

惠まれし味よ葡萄の一房は
かつゑし人を甦らする

星まばら寐らる村の夜を行けば
月は田園の夢をみまもる

ある日

原田琴子

吾子ふたりいとすこやかに生ひ立てどなほもさびしとわが背子はいふ

夕近き厨に下りてもの煮つゝさびしき君が面わを思ふ

言葉なく外に出で行くわが背子を厨に居つつかなしみ思ふ

けふもまたさびしく默し箸とらん君をおもひて夕縁に立つ

とのもには涼しき風ぞ吹きしきる縁べに君とものいはず立つ

さびしげに面そむけゐるわが背子にものいひかれてわれもたゝづむ

すこやかに生ひ立つ吾子よなが父にさひはひあれとともにいのらむ

流るゝ星

吉屋信子

秋の夜空に
一つの星流る
またゝく間に
彼は流れ去る

青白い尾をかすかに引いて
そして消えてゆく

空を離れ
群を離れ
何處へゆくのか？
さびしい流れ星

「孤獨」の姿を
星は感じてか
寂しく流れゆく

その青白い光
靜に澄んだ色
聖らかな感じ

地に生くる人の胸に
ふと宿つて消えた
或る美しさのやうに
悲しみを含んでゐる

瞬間の美しさ
けれども永遠に忘れ得ず

その美しい悲しい力を
流るゝ星に
感じる――

（一九二二、九、一九）

四つになる兒のうた

原田琴子

★

赤ちやん赤ちやんなぜなくの
おきいきがわるいのかい
それともおくわしがほしいのかい
ぼうやのおくわしをあげようか
チヨコレエトをあげようか
いやいやいや、だつてぼうやのが
なくなつてしまふもの、
赤ちやん赤ちやんお默りよ、
默らなければコツンだぞ

★

いやだ、いやだ
坊やが母さんと
ねんねするんだよ！
赤ちやんあつちへつれて行け、
赤ちやんあつちへ行つちまへ
坊やが母さんと
ねんねだよ！
赤ちやん病院へ歸つちまへ！

★

母さんどうしてパパさんは
おかへりにならないの？
また會ですつてなんの會？
會なんかよせばいゝ
仕様のないパパさんだなあ
いゝえいゝえあのね母さん
パパさんが歸つたら
「いゝパパさんですね」つて云ひませう
さうするときつとパパさんは
「いゝ坊やですね」つて仰云るよ。



佛蘭西から南洋まで

山田嘉吉

日本郵船會社の諏訪丸に便乘して新嘉坡に向ふべく佛蘭西のマルセーユへ來た、と云ふ通信を山田嘉吉氏から九月十六日に得て、それからまたいよ〱乘船する前の手紙が來る筈と思つて待つて居ましたが、とう〱待つて居た手紙は來らず、いきなり新嘉坡からの通信に接しました。待つて居た手紙が來なかつたのは、嘉吉氏はマルセーユへ着くと直ぐ病氣にかゝつたからでした。けれども、間もなく全快して次の通信を得ることが出來ました。

八月十六日。諏訪丸にて。八月十二日に此の船でマルセーユを出帆した。これは一萬噸よ少りし大きい位ひの船であるが、設備は完備して居るし、非常に穩やかな氣持ちのする、船客に好感を與へる船だ。私は巴里を立つてマルセーユへ着き一度通信をして後直きに大熱に犯された。咽喉が害されたのが原因で度々意識を失ふ程の大熱に惱まされ、A氏に非常な御迷惑をかけた。十二日には乘船しなければならないのに氣が氣でなかつた。けれども私は一生懸命だつた。體がブル〱慄へるにも拘らず私は着物を着た。そして、船の出る時間を待つた。二日間、マルセーユのホテルに寢て居たのだ。船が出る時間が來た。

私はホテルの自動車で波止場へ運ばれ、船上の人となつた。勿論、直ぐに船室へ入つて床につき、船醫を呼び治療を乞ふた。三日の後熱は退ひた。

八月十八日。諏訪丸にて。今日午前十二時に船はポート・サイドに着いた。其處に止まること六時間で、船はスエズ運河に這入つた。此の運河に入ると船は普通の速力の半分しか出すことが出來ない。隨分のろい其の進行を二十四時間續けて、船はやうやく運河を出てしまう。

八月十九日。諏訪丸にて。船は、今、紅海を走りつゝある。これは幅の狹い海だ。丁度、合衆國のあの大きなミシシヒ川のやうだ。兩岸には高い山脈が續いてゐて、北の中にあの有名なシナイ山が聳へてゐる。隨分高い山だ。けれども、樹木も草もない禿山のやうだ。船は十二日間或ひは二週間此の進行を續けて、そして、コロンボに寄し、一日碇泊してから、いよ〳〵新嘉坡に向ふ。其處で、下船して南洋に行く。

八月二十四日朝。諏訪丸にて。手紙は出來るだけ澤山書きためて置いて皆一緒に此の諏訪丸で日本に送る。なぜなら、今、日本へ行く船ではこれが一番早い。毎日書くつもりでは居るのだが、思ふやうには行かない。殊に、此の二三日の暑さと云つたら、書くことを考へることも出來なかつた。今日はいくらか涼しいので少し書かうと思ふ。

船客のうちには日本人の若い夫婦者が居る。其の妻は隨分愚にも付かぬことをペチヤクチヤしやべるがそれでも始終男船客の大勢が彼女を取り卷き彼女におせじを使ひ彼女の機嫌を取ることに競爭してゐる彼女は彼等のためには毎日女王のやうだ。男と云ふもののくだらないことには呆れざるを得ない。

船は、昨日、紅海を出て印度洋上をまつしぐらにコロンボを差して走つてゐる。暑さは殆んど耐へきれない程だ。船室の中にはとても居られない。と云つて、外へ行つて寢ようとする處はない。

八月二十四日夜。諏訪丸にて。今日はこれで二度手紙を書く。船の上ではいろ〳〵の出來事があつた。けれども、私は其れを詳細に書くことは面倒くさくていやだ。今度は海外で隨分多くの日本人に逢つたが

併し歐州人の作法や習慣を完全に理解して居るものは殆んどなかつた。そして、これは、彼等が言語を自由に使用することが出來ないからだと思ふ。其れは、又、難しいことであるに相違ない。

健康は全く回復した。私は毎朝四時半に鹽風呂に入る。餘まり暑いので裸體で寢て腹を冷やすから、其れを癒すためだ。大變氣持がいゝ。マルセーユで病氣にかゝつてから私は健康と云ふことに非常に注意して居る。

八月二十七日。諏訪丸にて。昨日は大部分の船客が船室に閉ぢこもつて居た。なぜなら、船の動揺が非常に烈しかつた。私も自分の船室で讀書した。其のために手紙を書くことを等閑にした。勿論、船客のいつもの馬鹿々々しいことの外、書かうと思ふこともなかつた。

獨逸の潜航艇が印度洋を暴れ廻つて居た時に、我が常陸丸がエムデン號に撃沈された處を我々の乗船は通つた。ソコトラ島の傍を通過する時には海は比較的靜かであつたが、其の後には少し荒れた。

八月二十八日。諏訪丸にて。今日も少しく讀書が出來た。比較的涼しい。船員の話によると、此の季節に印度洋がこんなに靜かであるのは珍らしいさうだ。丁度、颶風（ムーンスーン）が暴れ廻はる頃なのだが、其れはもう通過してしまつた後らしい。これからはどう云ふことになるか分らないが、今迄は實に幸運であつた。横濱からサンフランシスコ迄、キー・ウエストからキユーバ迄、キユーバからニユーオーリンス迄、紐育から英國のサウザンプトン迄、マルセーユからコロンボ迄、海は何時も靜かであつた。其れが私の旅愁を幾分かは慰めて呉れた。餘まり多くを望んではいけない。いゝ加減な處で滿足して居なくては。

九月一日。諏訪丸にて。もし、健康が許さなければ止むを得ず南洋行きは思ひ止まつて此の船でまつすぐに日本に歸らなければならないが、併し、熱帶の氣候にも私の健康は耐へ得ると云ふ自信が出來たから矢張り豫定通りシンガポールで下船し、そして、先づジヤバへ行く。

九月七日。シンガポール・ラツフルスホテルにて。マル

セーユを出帆してから二十五日目で昨日シンガポールに着き此のホテルに投宿した。これから、ジャバ島スラバヤ市に向ふ。私の體量は十六貫五百目（平生はいつも二十貫以上あつた人です）に減つて服が皆ゆる〳〵になつてしまつた。

九月十日。八日午後四時シンガポールを出帆した。船は四千噸ばかりの可なりいゝ、オランダの船だ。一等船客も大勢居るが其の大部分はオランダ人だ。それから數百人のマレー人が乗つて居るが、其れは皆出稼ぎ先きからの歸へりなのだ。彼等は實に見すぼらしい。本當に服從させられて居る人間、到底、獨立の生活を營み得ないように見ゆる。彼等は動物のやうに苦役させられ、犬のやうに取り扱はれて居る。彼等には有力な本當に彼等の味方となる者がなく、唯、屈從があるばかりであることを私は非常に氣の毒に思ふ。

我々の船は十日午前七時、ジャバ島のバタビヤに着いた。そして、A氏は市中觀察に上陸されたが私は行かなかつた。強烈な日光に病後の體をさらすことを避けるために。

九月十一日。今日午前十時に、船は矢張りジャバ島のサマラン市に着いて六時間碇泊して、午後四時に再び出帆した。此處では多くの三等船客が下船した。勿論、彼等はマレー人だ。彼等の天性は善良であるように思へる。彼等が私達に對してどんな無禮なことをしようとも私は彼等を憎むことは出來ない。なぜなら、彼等は其れが無禮であると云ふことを知らないのだから。

こうして旅をして居ると幾度も〳〵別離を悲しむ光景を見せられるが、今日も戀人同志の土人が別れる悲しい場面を見せられた。二人とも烈しい勞働に常に從事して居るらしく見へたが、男の方が戀人を後に殘して出稼ぎに行くらしかつた。娘はむしろ汚れたハンケチを一生懸命振つて居たが、それは愛情其のものであるように見へた。又、其れに答へる彼女の戀人の態度は誠意そのものであるように見へた。彼の心は彼が他國に行つて居る間、彼女の身の上が無事平穏であることを冀ふことで一秒であり、彼女も

亦無事で元氣な戀人と再會し得ることを念ずる外何にも考へて居ないようであつた。彼等は眞面目で正直で誠意のかたまりで單純で純粹である。

これに反して、白人達は見かけは立派で美しい。けれども其れは外面だけだ。彼等の白い皮膚の下には眞黒な狼がかくれてゐる。けれども、土人の黒い皮膚の下には柔い毛で覆はれた優しい羊が潜んでゐる。白人の戀人同志が別離を悲しんで居ても、私は其れが表面の作り事であるように感じたことが度々あつた。義理で悲しい風をして居るように思へるのだ。或ひはむしろ他國へ自分の相手を送り出すことを厄介拂ひでもするように思つて居るように見へるのだなぜなら、外形ばかり美しい女と金持ちの男、又は相當に年をとつた女と若い男、富豪と貧乏な若い女どんなに善意に解してやろうとしても其れが難しいのだ。

それ等の白人共が純粹な土人を意のまゝに支配して居るのを見ると實に不愉快だ。土人が正當に支配されて居るとはどうしても思へない。其處には神もない！　正義もない！　白人の私慾があるばかりだ。私慾のために土人を利用して居る白人は彼等自身にも決して安心はない筈だ。私慾は必ず他人を害さずには居ない。

オランダ人はジャバへ來てゐる。けれども、それはジャバが好きだからではない。ジャバは彼等のためには餘まりに暑すぎる。彼等は砂糖會社が好きなのだ。儲けるために。彼等は土人を大事にする。土人が好きだからではない。土人の勞働を好くのだ。彼等は土人の幸福などを思ふ遑を持つて居ない。自分自身の幸福を思ふのに忙しくて。彼等は滿足することを知らない。だから、精神的には彼等は貧乏で不幸だ。彼等は決してジャバに居たくはない、けれども儲けるために餘儀なく居るのだ。結局、彼等は少しも幸福でない。

これに反して、土人は此の熱帶の國で烈しく働いて居るのだから、肉體的には骨が折れても、そして、物質的には貧乏で、生活に餘裕はなくても――土人の着物と云へば木綿の一片だけで外に何にもない、

勿論、いつも跣足だ、食物も取り立てゝ云ふものはない程單純だ——併し、彼等の心は安らかであると思ふ。彼等には野心もなく、企業心もなく、極めて平穩な日を送つて居るのであるから精神的には矢張り幸福であらうと思ふ。さう思ふと矢張り神はある正義もある。

さう考へて、昨夜は安らかに眠ることが出來た。

九月十三日。十二日の朝、ジャバ島のスラバヤに着いて、シンパンホテルへ來た。船の上で旅行券を調べられてから下船すると三菱支店のT氏が待つて居た。稅關の調べを終つてから此のホテルへ來た。

此のホテルはオランダの會社が管理してゐる。大きなカテージ風の建物で、部屋の一つ〳〵に大きな緣側がついて居るし、何にもかも熱帶の氣候に都合がよいように工夫してある。

オランダ人はジャバ、スマトラ、及び、其の他の領地を開拓することに成功した。むしろ、彼等は土人を教育して、砂糖や其の他の物品を產出することに成功したのだ。彼等は土人を教育した。けれども、それは働かせるに都合のいゝように教育したのだ。彼等は、土人の精神的の方面には觸れないことを以て賢しとして居るのだらう。彼等は土人を大切にする。丁度、牧畜家が家畜を大切にすると同じ意味で大切にすれば家畜は肥へる。そして、より大きな收入となる。かくして、オランダ人は自分の富を造りつゝある。このことに關しては歸つてから又よく話す。

今晩非常にいゝ音樂があつた。恐らく、最高に純粹なものであつたらう。私はいつになく樂しかつたが併し、うちで聞く拙いピアノの方が此の最高に精練された音樂よりも私にとつては、より樂しい。

九月二十日。九月十五日にナンプランへ來て、ナンプランホテルへ二晩宿つてから十七日にはジョクジャへ來た。これは隨分古い都市で立派な佛跡がある。大きさは二町四方もある非常に手のこんだ石塔だ。それでも墓の一種だ。それは隨分古いものだ。これを建築するには無數の人間が使役されたことだらう。其處を見物してから、又、ナンプランへ歸つて來た。

これは高い坂の中腹に位置を占めて居るが、此の土地が既に高遠であるから、非常に涼しい。朝夕は外套なしでは居られない。丁度、日本の十月末か十一月の始め位ひの氣候だ。熱帶國にこう云ふ氣候の處があるのは實に不思議だ。いろいろの虫がすだくのを聞く。丁度、日本に於ける秋のやうに。

明朝はブイテンツオルグへ行く。世界的有名な植物園がある處だ。

ジヤバ人は日本人に實によく似て居る。歌、踊り、音樂、食事、家の造り方、農業の仕方、其の他技術など、我々日本人と同じ行き方をして居る。我々日本人がジヤバ人であるのか、それともジヤバ人が我々日本人の後裔であらうと思ふ。そして、奴隷のやうな狀態から彼等が脫するために援助してやる使命が我々日本人にあると私は考へる。

ジヤバの貴族と云はれることは、やくざな人間と云はれることだ。實際、又、ジヤバの貴族は其の容貌から服裝から實に淫蕩的に見ゆる。

九月二十二日。ベル●ブユーホテルにて。昨夜此のブイテンツオルグへ來た。そして、今日午後バタビヤに行き、其處からシンガポールへ歸へる。A氏はスマトラへ行かれたが私は自分の健康を慮つて、暑さのすさまじい其の島へは行かないことにした。シンガポールで郵船會社の三島丸を待ち、A氏を待ち合せ一緒に歸國することにする。

九月二十六日。シンガポール●ラツフルスホテルにて

二十三日バタビヤからオランダ船に便乘して昨日此處へ（シンガポール）歸つて來た。二十四日の晩には又熱が出て一晩中苦しんだ。けれども、二十五日の朝はシンガポールへ上陸しなければならないので一生懸命になつて着物を着た。ホテルへ來て床について醫者を招んだ。幸ひ今朝は餘程よくなつた。もう、ぢきに全快すると思ふ。三島丸が歐州から來て其れへ私が乘る時分には私の體はスツカリ快くなると思つてゐる。

とにかく、今度の旅はこれでもう終つたわけだ。十月五日にシンガポールを出帆して、十月十一日にホンコンへ、十月十四日には上海へ寄港して、そして、十月十九日に神戸へ到着する豫定だ。

教育社會學講話（第十八回）

社會階級の研究

相續と職業

父の職業を繼いで居る人の數を、父とは別な職業に從事して居る人の數と比較して見ますと、父の職業を繼いで居るもの三に對する、一が父とは別な職業に從事して居ます。そして、これは問狀に應じた二千四百十五人の囘答に基いたものであります。

大きな工場の所有主に子息があつて、彼はその工場に付て根柢から學び始め、著々と工場に關する知識と經驗を積み、何時父が退ひても工場の經營上の責任を引受ける事ができると云ふことはよくある例です。

又、大農家にあつては、當主の祖父もその家で生れ、彼の父も其家で生れ、彼も亦

其家で生れ、そして、彼の悴も其家で生れたと云ふのは普通であります。そして、さう云ふ風の家では代々農業を營んで居ます。

けれども、又、別な例をとつて見るなら、或る一人の農夫は三人の悴と二人の娘を持つて居ました。そして、彼等の家は停車場の近くにあつたゝめに、子供達は小學校以上の學校へ通學するに好都合でありました。そのために男兒の一人は法律家となり一人は齒科醫となり、もう一人は郵便配達夫となり、そして、娘の一人は看護婦と成り、そして、もう一人の娘は速記者に成らうと備準して居て、その家の田畑は他人の手に依て耕やされて居ると云ふ例もあります。そして、これは、敎育の普及、機械の發明が努い職業に代る事、色々の種類の新しい職業が若い人達の爲に開かれて居ること及び、轉々と人々が移動することなどが子供をして親の職業を繼がしめない傾向となつて居ることを示して居るのです。

富に基礎を置く階級

階級制度と云ふものが存在してゐない處でも、富者と貧乏人ははつきりと意識して居る階級であります。そして、これは產業革命が富者と貧者の間隔を廣めたことによつて、一層、著しくなりました。又、知的職業階級は自分等を擁護する富者に奉仕しようとして、自階級意識を失はうとする傾向があります。富者の子供達に敎へて居る敎師達は普通貧者の子供を敎へて居る敎師達よりはその父兄に對してより多くの親交を持つて居ります。と同時に貧者の子供の敎師達は殆ど必ず富者の敎師仲間から除外されて居ります。

前世紀間の歐州の擴張は歐洲の舊地主貴族の外に無數の分限者が現はれました。そして、これらは外國貿易とか、殖民地の開拓とか、鐵道敷設とか、製造業とか、或ひは天然の富源を捕獲して、即ち金山或ひはダイヤモンド●フキイルド、鑛床、硝酸窒森林及び水力等の發見によつて出來たものであります。其の結果、金力政治の壓迫の下に貴族達は彼等の階級の中にそれ等の新しい連中を許さねばならない事になりまし

た。新分限者を許さないとしても彼等の子供達を、許さなければなりませんでした。

收入が生活の標準を造ります。そして、それが、階級を造ります。でこの關係に於て同じ階級に相當する人達はその外的生活に於ても殆ど同じやうなかたをとるようになります。人が都市のどう云ふ區域に住むか、どんな種類の家或ひは部屋に住むか、どんな着物を着るか、妻が家事の一切をするか、或ひは雇人を置くか、(もし雇人を置くとするとどの位ひ支拂ふか又どんな種類の雇人を置くか)、彼等が馬車を持つかどうか、又は、夏に田舍へ避暑するかどうか、或ひは彼等が子供を大學へやるかどうか、其他凡ゆる事柄を取り極めるものは收入です。

二人の人が或る事に關しては同趣味でありながら一人の方の收入は五千圓であり、他の一人が五百圓を取つて居るとしたなら、二人の間に極めて自由な談話が取り交はされる事は難しい事であります。或る事柄に關しては相互の間に横る差別を避けて、話を進めて行くことができませう。けれども娛樂とか、家事に就てとか、或ひは其れ

に似たようなことに關して話し合ふ事は先づ不可能であります。天候に就ては二三の話題はあります、政治に就てならばこゝにも經濟上の見地の違ひが現はれませうが、又二三の話題が見出せませう。宗敎に就て或ひは哲學に就てならば若し其人達が素養があるならば最善な話題でありませう。併し、此處で意味するものは、即座の愛想よき余り深味へ這入らない話題を云ふのであります。又彼等の妻達の間の話題になりますと尙一層困難になります。そして只一つの特別な氣轉と大量とも云ふやうなものが話しを自由にするでありませう。

或る一人の青年は十八歲の時に一富豪の相續人となりました。勿論彼は全財產を自由にする事は出來ないのでありましたが、併し、每月彼の自由に使用する或る高の金が與へられました。彼が富豪の相續人となる前には、彼は多くの遊び仲間の一人であつて何人にも好かれる少年でありました。けれども、其の相續者となつてからは、彼は舊友から段々離れて行つて遂には街路に於て出逢つても殆ど忘れられて仕舞つたよ

うな様子をされて居ました。

高等學校を卒業した後に彼は大學に這入りました。一學年の終りに彼が歸省した時には、彼と舊友との隔離は完成してしまいました。

又、高等女學校の學生の一團が各土曜日の午後に會を開いて居りましたが、有福なる家庭から來る連中と貧乏の家庭から來る連中との間に絕へず意見の相違がありました。遂には有福の家庭から來る連中は其の會を引退して、別に金曜日會を組織したと云ふ事實もあります。

現在に於て、大收入のある家庭が、世襲財產家と社會上同じ位置に見られて居ると云ふ例は澤山あります。ですから能力のある人は或る例外の障害に妨げられない限りは、上の階級に達する事ができます。貧乏は夫れ自身に於て殊に若い人達にとつては恥辱ではありません。何故なれば人生の半ばにある人や又は半ば過ぎた人の大低は、貧乏と云ふものは其人達に發達する機會がなかつたのだと云ふことを知つて居ます。

歷史の知識を背景として、社會階級に關する前述の議論を讀んだ人は、この世界に大變化が來た事を確かに認めるでせう。唯かたちの上の階級は勢力を減じつゝあります。そして事實上の階級が勢力を得つゝあります。現代人の社會上の位置を定める重要な要素は昔とは異つて其人の親の身分が何んであつたかではなく、其人自身が何を爲し得るかであります。現代人の生活は一切が競爭的であります。戰爭とか產業とか云ふ方面に於てばかりでなく、凡ゆる方面の活動に於て競爭的であります。

交通機關は靑年に世界の凡ゆる出來事を知らしめます。靑年は自己の有する才能、及び、專門的に熟練した自己の手腕が何を爲し得るか、何處でそれを要求してゐるかを知り得ます。この數世記の間、世界はさう云ふ傾向に進みつゝあつたので、今尙、それは完全にはなつて居りません、つまり、機會は全體に平等に行き亘つて居りませんし、又、凡ての人が彼等の不利の地位に打勝つ事に成功して居りませんが、併し、さうなる大勢は間違ひなく何處にでも發見さます。人の技倆は必ず認識されねばなら

ぬ方向に向ひつゝあります。

階級と教育

世襲にあつた階級の基礎を競爭に置くようになつた組織の變更は教育を一層復雜にしました。以前には各々の階級が夫れ自身の教育制度を有つて居つたのでありますから、如何なる教師も新たに数ゆる生徒の經歷の種類を正確に知る事ができました。下層階級に於ては常にそして中流階級に於ては、大部分、若い人達は單に其の階級の中に成長する事に依つてその階級の作法と知識とを學んで居りました。それは偶然的に兩親や又は仲間の勞働者から教へられたのです。

教訓は必然的に嚴格であります。何故なれば個人はその階級が自分に適合しやうがしまいが、その階級に自己を相合ふやうにせねばなりませんから。これに反して競爭的制度は各人にその好む方面を選擇させます。そして、學校の方針は民主主義の精神に基づかせます。さうする時には個人は自己の進み行く道を選擇する前に自己の天分

を發見せねばなりません。彼に其の天分を發見させ、其の天分を發達させるに必要な種類の訓練を彼に施す爲に、今日の敎育制度は責任あるものでなければなりません。

學校と云ふものは階級意識を永存さするにも或ひは消滅さするにも大いに與かつて力あるものであります故に、敎師は彼等が爲し得る範圍に於てどう云ふ方面にその感化力を向くべきかを知るべきであります。彼等はその暗示を先輩の議論から取る事もできませうし、事實に於て彼等は既にその暗示を時代の精神から取りつゝあります。階級は現代の社會組織とは適合しないものでありますから、學校に於ては階級に對する好意は少しもありません。各生徒に平等の機會を與へよと云ふ事が一般の標榜語となつて居ます。敎師は貧乏の爲に不利の地位にある生徒、及び、國語によく通じて居ない爲に不利の地位にある生徒に特別に援助するやうに傾いて居ります。鑛夫が金塊を探すやうに、敎師は生徒の生來の性質を研究し、その資格を發見し、それを鼓舞し有益なる人間にしやうと苦心します。職業階級が近代社會組織の根本要素でありま

故に學校は生徒をして正しい方向に其考へを向けさせなければなりません。つまり、生徒に早く自己の將來の職業に就いて考へるやうに、その職業に關する學問をするやうに、その職業に於ての成功者なる年長者と相交はるやうに敎へる事が有利です。さうすることによつてその生徒は適當な心の態度を得る事ができます。そして自分の職業以外の職業に對し、或ひは公衆に對する態度も學校に於て定められます。で、デューイ敎授は云つてゐます。

『一度びは有暇階級と勞働階級の間に永久的區別が假定されてあつた。敎育は、少なくとも初等敎育以上のものは、この有暇階級の爲にのみ企てられてあつた。敎育課目及びその方法は有福に生活して居る者、生活のために勞働する必要のない者の爲にのみ計畫されたのであつた。それ等の人々は體的勞働を恥辱として居た。貴族的の國或ひは封建制度の國々に於ては體的勞働は奴隷とか奴僕にさせたものであつた。さう云ふ階級は社會から劣等視されて居た故に自然彼等が從事して居る職業も賤しめられた

のであつた。
そして、さう云ふ仕事に適するように訓練する事は卑屈なる種類の敎育と考へられてあつた。と、同時に自由敎育は自由の人に對する敎育であつて、その自由人は高等階級の人であり、自分自身の生活の爲にも又他人の生活の爲にも勞働に從事する必要のない人であつた。そして手を要する仕事は卑しいものとされてしまつた。紳士と云はれる人は競技か戰爭を除いては手を用ゐる事を欲しない。もし自分の手を使用する場合があるとすればそれは社會のために重要な仕事をする時であつた。同時に他人に仕へることは社會の又は政界の寄生者であるしるしであつた。』と
これに反して此の頃では富者の子供も勞働者の子供も學校に於ては並んで席を取つて居ます。合衆國ワシントンニ於ては、大統領の子息と故大統領ガーフヰールドの二人の孫と國會議員の多數の子供達が馭者や植木屋や勞働者の子供達と同じ敎室に於て同じやうな事をして居ると云ふことです。そして彼等の間には少しの差異も認められ

ず教室に於ても運動場に於ても全く平等に交はつて居ると云ふことです。けれども其れに付てリー博士は云つて居ます。『階級に關する馬鹿氣た考へを永久に保持して置くことは望まない、併し、或る形式に於て社會構造の堅實さを保存しなければならない。そしてその堅實さは階級の影響による國民の態度の標準を繼承し、そして次代に傳へることである。もし、子供が其の標準に服從しないならば、子供は教育に於ける最も重要なる要素を拒まれた事になる。』

一階級としての教員

教員の社會上の位置と云ふことは重要な問題でありますが殊に女教員のために重要であります。社會の指導者達は教員を社會上彼等と平等に見て居るのか、或ひは下級の雇人として見て居るのか？　この質問に對する答へが滿足なるものであるならばそれは教員自身のためにも社會のためにも幸福であります。その答へは教員に對する生徒の態度を定めます。從つて學校の授業に對する生徒の態度をも定め、尚、又、學校

以外の社會に於ても教員の重要さを定めます。

或る處では、教員の位置を劣等と見て居るわけではなくとも、併し、社會的に無視されて居る、つまり、別物扱ひにされて居るに反して、或る處では、又、何事かあれば先づ第一に教員を招待する、凡ゆる社會的事業に教員を列席させ、子供の親達は教員を訪問したり、又は、自宅に招待して歡待したりするそうです。

又、銀行家、商人、醫者などが教員達のために何事かをすることを彼等の特權であるように心得てゐる處さへあると云はれて居ます。

教員達は時とすると社會の歡迎心を失ふやうな性質を發達させるやうな事があると云はれて居ます。なぜなら彼等の職業が彼等を批評的にします。殊に言葉の發音のやうな平凡な事柄に於てさう云ふ傾向があります。それ故さう云ふことに就て確かでない人が教師に逢ふ時には、傍若無人に出るか或ひは非常に用心深い態度に出ます。教員はさう云ふことに附ては模範とされて居ります。少なくとも彼等は間違ひなどはし

ないものとされてゐます、それを自然彼等は意識するやうになります。未熟な子供の心に一定の制限ある知識を提供する事に慣れて居つて、彼等は彼等自身の制限ある意見を保持して居ります。つまり學校的であつて、自説のみを守つて居て、他の異なつた意見に傾聽しない傾向があるのです。そして新しい局面に當る勇氣に乏しい傾向があるのです。彼等の仕事は固い境界を彼等の周圍に造つて仕舞つて他の職業の人達と接觸することを避けようとする傾向を持つてゐます。そう云ふ風にして自然彼等は禮儀作法や服裝や時の流行である小話に就て知る機會を失ひます。そう云ふことが他人の中に這入つた時に如何なるものよりも以上に目立つのであります。斯ふ言ふ關係に於て、同じ學者的訓練を受けて居る法律家とか醫者とか僧侶とか或ひは教育された實業家である人達は教員以上の便宜を有つて居ます。之等の職業の人達は僧侶を除いては收入の點に於て教師達よりは以上の利益を有つて居ますから彼等の生活標準も高くなつて居ります。處で斯う云ふ多くの不利益に對して教師は二ツの利益を數へる事が

できます。一ッは教師は最高なる人格者と假定されて居ること、そしてもう一つは彼の仕事は社會を廣く益するものと假定されて居ることです。けれども、この利益と不利益を差引ひた正味の結果は教師の方が不利の立場となります。それ故大抵の教師は他人の中に行く時には教師である事を知られない事を望むと云ふ傾向さへあります。

併し、どんな職業も其れ自身に於ては不利益の場合がある事に留意して置く必要があります。

又、教員の仕事は氣樂な狀態にあるやうに公衆は思つて居りますが事實は決してさうでありません。時間割にされた短い時間、毎週の休日及び休暇などがありますが、併し、それは日々に必要な仕事を爲すために必要だと云はれて居ます。

下級階級の教員は、最高階級のつまり大學の教授連でも矢張り特別な困難の下に働いて居る、つまり、同一階級である事を知つて聊か慰められて居るかも知れません。

地位の保有と云ふ事は如何なる階級の教師にとつても同じ重大問題で、稍大きい事柄

になりますと學問の自由の問題となります。合衆國の教授達はこの問題を非に常鋭どく感じて居まして一八一四年に大學教授協會を組織し、年々、會を開きそして會報を發行し始めました。

編輯の後

山田嘉吉氏は十月十九日神戸着無事歸朝致しました。旅行中は時々健康を害し非常に體重を少なくしたにも拘らず幸ひに無病息災で上陸致しました。氏の旅行記は本誌をもつて終りと致します。「あんな風に書くのなら其のつもりで手紙を書いたのに」と嘉吉氏も申しましたが全く始めつから其のつもりでなかつたために不完全な點が多う御座いました。勿論私もそれは承知の上で、唯、筋書を追つて置けば嘉吉氏が歸朝後又其れにつけ加へられると云ふ考へで御座いました。で、次號からボツボツ氏の視察談を掲載するつもりで居ります。

とにかく、今度の旅行の日數は百八十六日(四月十七日横濱發十月十九日神戸着)で、旅行の總里程は三萬五千哩ばかりでした。西比利亞鐵道が通じて居た頃は日本から歐洲迄十四五日で行けたそうですが、露西亞があの狀態になつた今日それが出來なくなつたために倫敦から日本迄の航海は六十七日かゝります。ですから、旅行日數百八十六日と云つても海の上に過す日が多いために隨分忙しい旅でありました。けれども、いろいろ面白い話もあるようですから、旅行記でなしに外のかたちで追々掲載して行きます。

◎いつ迄も〳〵續いて居た暑氣も夢の樣に過ぎて、もう寒氣が訪れて參りました。皆樣の御健勝を祈ります

寄贈雜誌

女性	婦人畫報
婦人公論	婦人界
婦人世界	女性日本人
婦人倶樂部	世帶
近代生活	住宅研究
丁酉倫理	文化運動
愛國婦人	實生活
婦女新聞	無我の愛
關西婦人新聞	越後タイムス
尺土	詩劇
教育新聞	我等の詩
世界の批判	文明之日本(創刊號)
信友	文化雜誌(創刊號)
皇道	佛教新聞
信州婦人	新生(創刊號)

本誌定價表

一册	六册	十二册
金二十五錢	前金壹圓四十錢	前金貳圓七十錢
送料五厘	(送料共)	(送料共)

雜誌代及郵税は前金の事御送金の際に振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと郵券代用は五厘切手にて一割増　廣告は御照會次第御相談いたします

大正十一年十月二十三日印刷納本
大正十一年十一月一日發行

東京四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京神田區仲猿樂町十七
印刷人　大杉直次郎

發行所　東京四谷區南伊賀町四一　婦人と新社會社
振替東京五三六八八

